

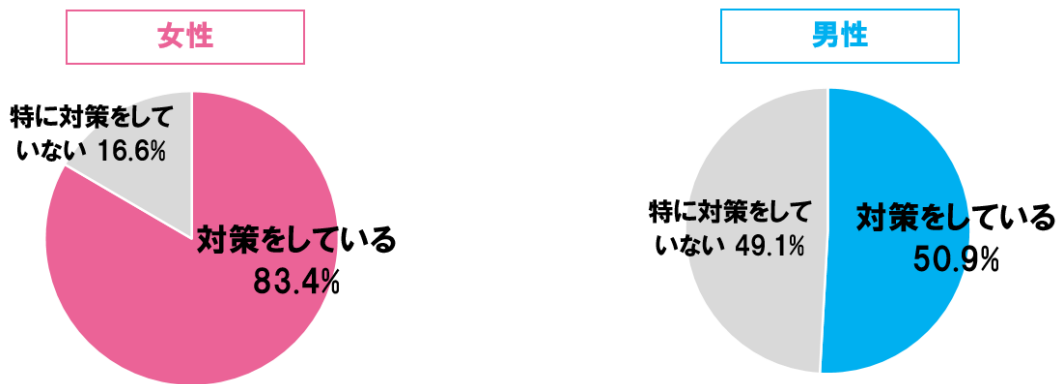
男女2,000人の日焼けに関する意識調査

「日焼け・紫外線対策」をしている女性は83.4%、男性は50.9%
2024年夏（6月～8月）、「日焼け・紫外線対策」にかけた金額は？

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』（<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>）は、15～49歳の男女2,000人に対し、「日焼けに関する意識調査」を実施しましたのでご報告致します。

Q. あなたは「日焼け・紫外線対策」をしていますか？（男女各1,000人、複数回答※）

何らかの日焼け・紫外線対策をしている女性は83.4%と多数を占め、男性は50.9%で半数を占める。



※本設問は複数回答で聴取し、「特に対策をしていない」以外の選択肢を選んだ人を「対策をしている」として集計

Q. あなたは今年の夏（6月～8月）の日焼け・紫外線対策に総額いくらかけていますか？もしくは、かける予定ですか？（日焼け・紫外線対策をしている人 女性834人、男性509人、単一回答）

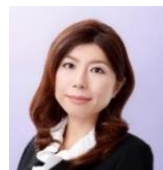
女性の平均は2,066円、男性の平均は1,472円。最も金額が高いのは30代女性の2,329円。

	女性	(人)	男性	(人)
全体	¥2,066	834	¥1,472	509
15～19歳	¥1,577	209	¥1,240	128
20代	¥2,192	192	¥1,568	131
30代	¥2,329	213	¥1,791	128
40代	¥2,164	220	¥1,276	122

（算出方法は「調査概要」に記載）

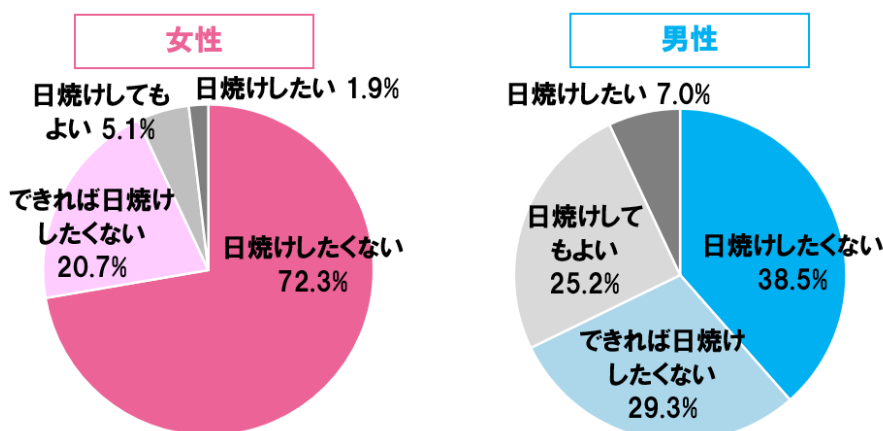
< 研究員からのコメント >

今年の猛暑の中では、熱中症対策・日焼け対策の必要性を感じている人も多いでしょう。日焼け対策では、男女ともにTOP5に「日傘」がランクイン。男性の日傘も珍しくなくなってきました。また日焼け対策にかけた金額では30代女性が最も高いですが、この年代は子育て中的人也多く、屋外で子供と遊んだりする機会が多くなることから、対策への意識が他の年代よりも高いと考えられます。（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）



Q. あなたは「日焼けすること」に対してどう思いますか？（男女各 1,000 人、単一回答）

「日焼けしたくない」は、女性が 72.3%、男性は 38.5%。「日焼けしたくない」と「できれば日焼けしたくない」の合計は、「日焼けしたい」と「日焼けしてもよい」の合計を大きく上回る。



Q. あなたが行っている日焼け・紫外線対策として、あてはまるものを全てお知らせください。

（日焼け・紫外線対策をしている人 女性 834 人、男性 509 人、複数回答）

男女とも 1 位は「日焼け止めを塗る」で 2 位以下を大きく引き離す。女性で 2 位の「日傘を差す」は、男性も TOP5 にランクイン。

順位	女性(TOP5)	%	順位	男性(TOP5)	%
1	日焼け止めを塗る	78.3	1	日焼け止めを塗る	59.1
2	日傘を差す	54.3	2	なるべく日陰を歩く	30.5
3	なるべく日陰を歩く	50.8	3	長袖・長ズボンを着用する	19.4
4位	日焼け・紫外線防止効果のある下地やBBクリームを塗る	29.6	4位	サングラスを着用する	15.9
5位	アームカバーを装着する	28.4	5位	日傘を差す	14.5

Q. あなたが日焼け・紫外線を気にする理由としてあてはまるものを全てお知らせください。

（日焼け・紫外線対策をしている人 女性 834 人、男性 509 人、複数回答）

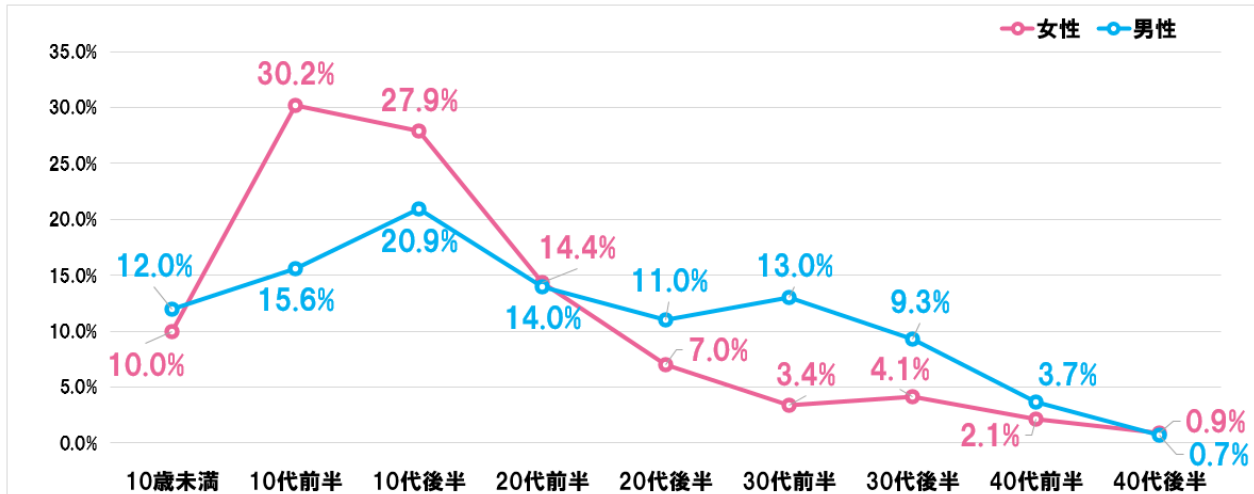
男女とも TOP3 には「肌トラブルの原因となるから（シミ・シワなど）」「肌が赤くなったり、むけたりして痛いから」「健康に悪そう・将来的に肌に良くなさそうだから」がランクイン。

順位	女性(TOP5)	%	順位	男性(TOP5)	%
1	肌トラブルの原因となるから（シミ・シワなど）	56.2	1	肌が赤くなったり、むけたりして痛いから	36.9
2	肌が赤くなったり、むけたりして痛いから	33.9	2	肌トラブルの原因となるから（シミ・シワなど）	32.4
3	健康に悪そう・将来的に肌に良くなさそうだから	32.5	3	健康に悪そう・将来的に肌に良くなさそうだから	25.7
4位	美容に気を使っているから	26.5	4位	日焼けすると疲れるから	24.0
5位	日焼けしていない自分が好きだから	24.6	5位	日焼けした肌が似合わないから	17.9

Q. あなたが日焼け止めを塗るようになったのはいつからですか？

(日焼け止めを塗っている人 女性 653 人、男性 301 人、単一回答)

日焼け止めを塗るようになったのは、女性は 10 代前半から、男性は 10 代後半からが最多。女性は 10 代前半をピークにその後は減少するが、男性は 20 代後半以降にも日焼け止めを使い始める人が一定数存在。

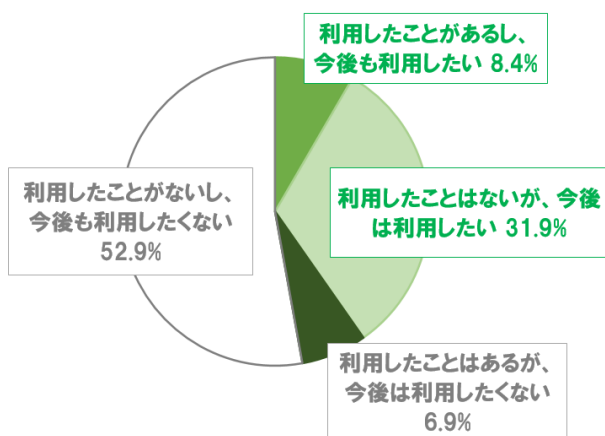


Q. あなたはエステサロンや美容クリニックで以下のメニューを利用したことがありますか？

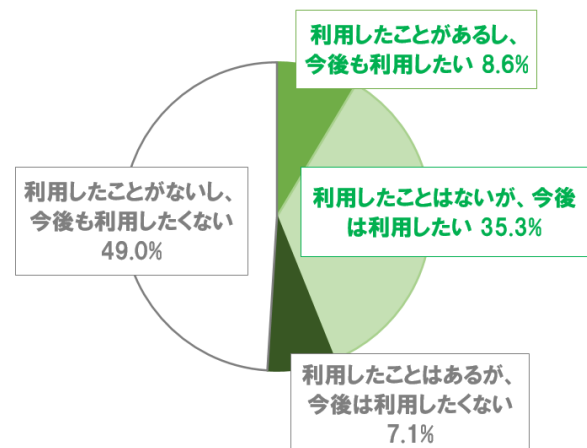
(日焼け・紫外線対策をしている男女 1,343 人、各単一回答)

今後の利用意向（「利用したことがあるし、今後も利用したい」と「利用したことはないが、今後は利用したい」の合計）は、「日焼け・紫外線対策につながるメニュー」が 40.3%、「シミ対策につながるメニュー」が 43.9%。

日焼け・紫外線対策につながるメニュー



シミ対策につながるメニュー



< 研究員からのコメント >

日焼け後にダメージを受けた肌の回復を促すケアや、保湿等の「日焼け・紫外線対策」や「シミ対策」のメニューの利用経験者は、今後の利用意向を問わずそれぞれ 15%程度です。一方、利用意向がある未経験者はいずれも 30%を超え、今後、利用が増えることが見込まれます。

日常的な対策として日焼け止めや日傘を使用するだけでなく、エステサロンや美容クリニックでの専門家によるケアを取り入れることで、より効果的な対策を求めるニーズが表れています。

(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

■調査概要

調査名 : 「日焼けに関する意識調査」

調査手法 : インターネットリサーチ

調査期間 : 2024年7月23日～2024年7月24日

調査対象 : 15～49歳の男女（男性1,000人、女性1,000人）

※図表内の%の値は小数第2位を四捨五入しているため、差分や合計値において、単純計算した数値と合致しない場合があります。

※平均金額の算出方法 : 回答形式は選択肢方式としていますが、便宜上選択肢の中央値を用いて平均金額を算出しました。ただし、選択肢の中で最も高額の「1万円以上」のみ「10,000円」として算出しています。

■『ホットペッパービューティーアカデミー』とは

美容に関する調査研究機関。「美容の未来のために、学びと調査・研究を」をビジョンに2014年に開校しました。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センスなどの「調査研究」、訪問美容・女性活躍・SDGsなどの情報提供・イベント開催などをはじめとした「サステナビリティ活動」を柱に、全て無料で美容業界へ情報発信しています。これらの活動により、美容業界の成長に寄与する場の提供を目指しています。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ : <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート : <https://www.recruit.co.jp/>